



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 ニチハ株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7943 URL <https://www.nichiha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 龍夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 殿井 一史 TEL 052-220-5111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	60,600	7.1	6,076	11.8	6,159	7.7	4,849	15.4
2019年3月期第2四半期	56,570	△0.5	5,435	△18.6	5,720	△16.4	4,202	△16.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 4,272百万円 (13.8%) 2019年3月期第2四半期 3,753百万円 (△27.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	131.20	130.93
2019年3月期第2四半期	113.63	113.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	138,405	90,371	65.5	2,459.74
2019年3月期	136,068	87,404	64.5	2,374.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 90,719百万円 2019年3月期 87,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	28.00	-	28.00	56.00
2020年3月期	-	30.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,100	6.7	14,000	10.1	14,300	8.8	10,700	7.9	289.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	37,324,264株	2019年3月期	37,324,264株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	442,516株	2019年3月期	341,495株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	36,965,637株	2019年3月期2Q	36,979,396株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資は堅調に推移したものの、鉱工業生産は海外経済の減速に伴う輸出の低迷などから弱含み、個人消費は緩やかな持ち直しにとどまるなど、景気は横ばい圏で推移し、一部に弱さも見られました。

住宅産業におきましては、新設住宅着工戸数は貸家の減少傾向が続き、当第2四半期連結累計期間においては467千戸と前年同期比5.0%の減少となりましたが、当社グループ事業との関係が特に強い戸建て住宅に限っては同4.3%の増加となりました。

これに伴い、当社グループの主力製品である窯業系外装材の当第2四半期連結累計期間における業界全体の国内販売数量は、前年同期比2.1%（JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準）の増加となりました。

このような市場環境の下、当社グループは、生産効率改善にかかる各種施策の徹底により生産・供給体制の強化を図るとともに、窯業系サイディングで業界初となる塗膜30年保証の新シリーズをはじめ、高付加価値商品の拡販に取り組みました。また、非住宅市場向けの営業施策の強化や、成長を続けている米国を始めとする海外マーケットのさらなる開拓に努める一方、各種合理化や生産性向上によるコスト削減にも注力いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	
			金額	率（%）
売上高	56,570	60,600	4,029	7.1
営業利益	5,435	6,076	641	11.8
経常利益	5,720	6,159	438	7.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,202	4,849	647	15.4

売上高につきましては、主力の国内事業は業界全体の販売量が増加した上、高付加価値商品の拡販などにより業界内シェアを順調に上昇させて増収となったほか、米国窯業系外装材も増収となったことから、全体の売上高は606億円と前年同期比40億29百万円（7.1%）の増収となりました。なお、業界内シェアにつきましては、当第2四半期連結累計期間においては49.8%と前年同期比2.2ポイント上昇し、9月単月では51.5%と過去最高を記録しました。

損益につきましては、国内における物流のコストアップがあったものの、国内外装材事業が増収により増益となったほか、米国・中国の窯業系外装材事業も増益となり、営業利益は60億76百万円と前年同期比6億41百万円（11.8%）の増益、経常利益は61億59百万円と同4億38百万円（7.7%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、中国子会社で固定資産売却益を計上したこともあり、48億49百万円と同6億47百万円（15.4%）の増益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

外装材事業

売上面では、前記のとおり、国内外装材事業、米国窯業系外装材事業のいずれも増収となったことから、売上高は558億18百万円と前年同期比37億81百万円（7.3%）の増収となりました。

また、損益面では、前記のとおり、国内外装材事業、米国・中国の窯業系外装材事業の増収に伴う増益により、セグメント利益（営業利益）は73億66百万円と前年同期比6億32百万円（9.4%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

①資産、負債及び純資産の状況

前連結会計年度末に比し純資産が29億66百万円、総資産が23億36百万円それぞれ増加した結果、自己資本比率は65.5%と1.0ポイントの増加となりました。

増減の主なもの、流動資産では受取手形及び売掛金が24億59百万円減少したものの、現金及び預金が12億24百万円、商品及び製品が13億85百万円それぞれ増加したことなどにより、流動資産全体で4億23百万円増加しております。また、固定資産では有形固定資産が25億41百万円増加した一方で、投資その他の資産が4億51百万円減少したことなどにより、固定資産全体で19億12百万円増加しております。

負債では、流動負債が13億49百万円減少した一方で、固定負債が7億18百万円増加したことにより、負債合計は6億30百万円減少しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比し17億76百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には343億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は66億71百万円（前年同期比16億44百万円の増加）となりました。これは、主に、償却前利益（税金等調整前四半期純利益＋減価償却費）で88億70百万円を計上した一方で、たな卸資産が14億43百万円増加し、法人税等の支払額が20億47百万円となるなど資金の減少要因もあったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は32億71百万円（前年同期比19億21百万円の増加）となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出が47億89百万円（前年同期比34億55百万円の増加）あった一方で、有形・無形固定資産の売却による収入が9億28百万円（前年同期比9億24百万円増加）あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は14億12百万円（前年同期比41百万円の増加）となりました。これは、主に、配当金の支払額が10億35百万円あったことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期（自2019年4月1日至2020年3月31日）の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました業績予想（以下、「前回発表予想」）を次のとおり修正しております。

2020年3月期の修正後業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結	127,100	14,000	14,300	10,700	289.32

（参考）前回発表予想（2019年5月9日公表）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結	128,000	14,500	14,800	11,000	297.44

通期連結業績予想の修正の理由

主力の窯業系外装材事業において、上期は国内において貸家の着工が想定以上に落ち込んだことを主因に売上高、利益とも期初予想を下回りました。このため、通期につきましては売上高、営業利益、経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益は、それぞれ前回発表予想を下回ると予想されます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,172	34,396
受取手形及び売掛金	29,200	26,741
商品及び製品	12,525	13,911
仕掛品	2,343	2,257
原材料及び貯蔵品	3,230	3,201
その他	921	1,318
貸倒引当金	△49	△58
流動資産合計	81,343	81,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,135	11,259
機械装置及び運搬具(純額)	9,930	9,649
工具、器具及び備品(純額)	353	346
土地	20,380	20,378
リース資産(純額)	271	258
建設仮勘定	294	4,015
有形固定資産合計	43,366	45,908
無形固定資産		
リース資産	57	49
ソフトウェア	1,306	1,101
その他	231	268
無形固定資産合計	1,595	1,419
投資その他の資産		
投資有価証券	5,728	5,405
繰延税金資産	2,458	2,395
退職給付に係る資産	233	230
その他	1,366	1,303
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	9,762	9,310
固定資産合計	54,725	56,637
資産合計	136,068	138,405

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,905	14,576
短期借入金	2,763	2,014
リース債務	116	116
未払法人税等	1,898	1,603
賞与引当金	1,481	1,497
役員賞与引当金	104	50
製品保証引当金	595	523
その他	9,685	9,820
流動負債合計	31,551	30,201
固定負債		
長期借入金	13,416	14,133
リース債務	239	215
繰延税金負債	379	338
役員退職慰労引当金	162	145
製品保証引当金	1,154	1,154
退職給付に係る負債	1,565	1,648
その他	195	196
固定負債合計	17,113	17,832
負債合計	48,664	48,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,136	8,136
資本剰余金	10,933	10,933
利益剰余金	67,417	71,232
自己株式	△319	△602
株主資本合計	86,167	89,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,162	2,045
為替換算調整勘定	△237	△755
退職給付に係る調整累計額	△292	△269
その他の包括利益累計額合計	1,632	1,019
新株予約権	112	124
非支配株主持分	△507	△472
純資産合計	87,404	90,371
負債純資産合計	136,068	138,405

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	56,570	60,600
売上原価	34,171	36,474
売上総利益	22,399	24,125
販売費及び一般管理費	16,964	18,048
営業利益	5,435	6,076
営業外収益		
受取利息	47	82
受取配当金	75	76
不動産賃貸料	44	44
為替差益	121	—
受取保険金	21	5
その他	52	46
営業外収益合計	364	256
営業外費用		
支払利息	69	62
為替差損	—	95
その他	10	16
営業外費用合計	79	173
経常利益	5,720	6,159
特別利益		
固定資産売却益	4	563
特別利益合計	4	563
特別損失		
固定資産除却損	19	22
投資有価証券売却損	—	94
特別損失合計	19	116
税金等調整前四半期純利益	5,705	6,605
法人税、住民税及び事業税	1,495	1,685
法人税等調整額	△18	32
法人税等合計	1,477	1,718
四半期純利益	4,228	4,887
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,202	4,849
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△116
為替換算調整勘定	△471	△520
退職給付に係る調整額	29	22
その他の包括利益合計	△474	△614
四半期包括利益	3,753	4,272
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,729	4,237
非支配株主に係る四半期包括利益	24	35

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,705	6,605
減価償却費	2,305	2,265
製品保証引当金の増減額（△は減少）	5	△72
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	100	115
受取利息及び受取配当金	△123	△159
支払利息	69	62
為替差損益（△は益）	△73	30
投資有価証券売却損益（△は益）	—	94
固定資産売却益	△4	△563
固定資産除却損	19	22
売上債権の増減額（△は増加）	△78	2,397
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,262	△1,443
仕入債務の増減額（△は減少）	△164	△227
その他	152	△516
小計	6,651	8,611
利息及び配当金の受取額	128	169
利息の支払額	△71	△62
法人税等の支払額	△1,685	△2,047
法人税等の還付額	3	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,027	6,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△129
定期預金の払戻による収入	—	680
有形固定資産の取得による支出	△1,334	△4,789
有形固定資産の売却による収入	4	358
無形固定資産の取得による支出	△44	△101
無形固定資産の売却による収入	—	569
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	60
その他	25	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,349	△3,271
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△130
長期借入れによる収入	3,000	1,500
長期借入金の返済による支出	△3,059	△1,402
リース債務の返済による支出	△72	△61
自己株式の取得による支出	△0	△282
配当金の支払額	△1,238	△1,035
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,371	△1,412
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85	△210
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,220	1,776
現金及び現金同等物の期首残高	27,786	32,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,007	34,302

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	51,630	4,940	56,570	—	56,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	405	1,146	1,552	△1,552	—
計	52,036	6,086	58,123	△1,552	56,570
セグメント利益又は損失(△)	6,734	167	6,901	△1,465	5,435

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△14億92百万円及びその他の調整額26百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	55,404	5,195	60,600	—	60,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	414	1,211	1,626	△1,626	—
計	55,818	6,407	62,226	△1,626	60,600
セグメント利益又は損失(△)	7,366	247	7,614	△1,537	6,076

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△15億72百万円及びその他の調整額34百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。